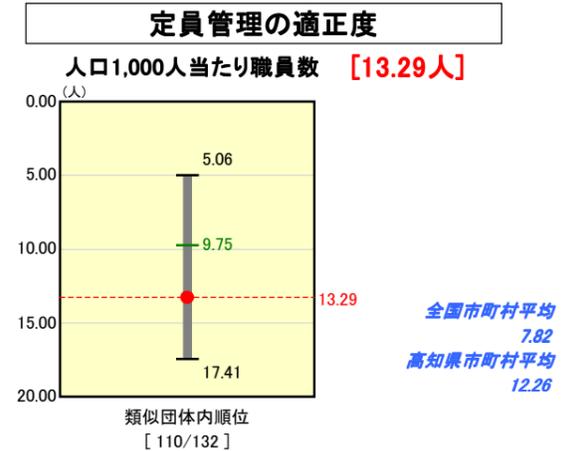
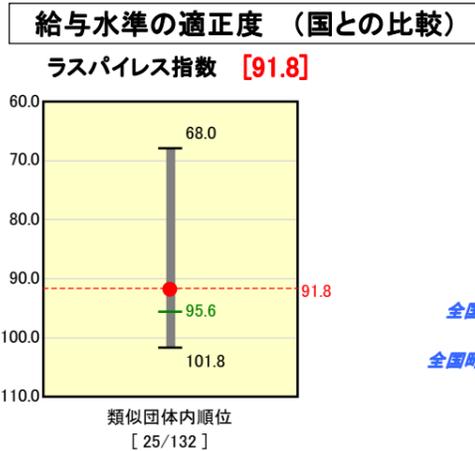
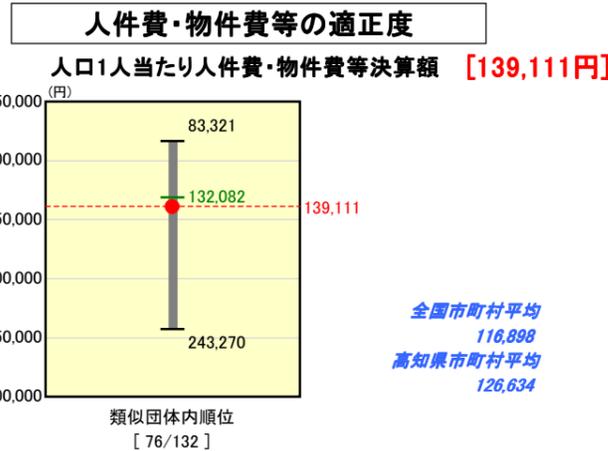
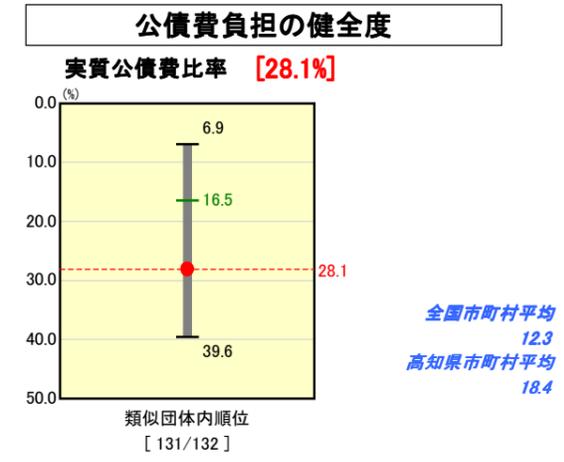
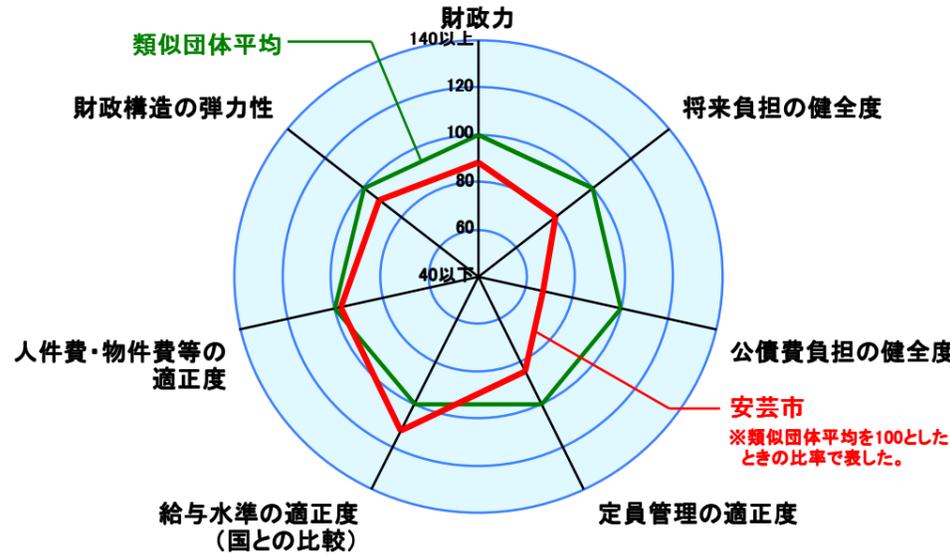
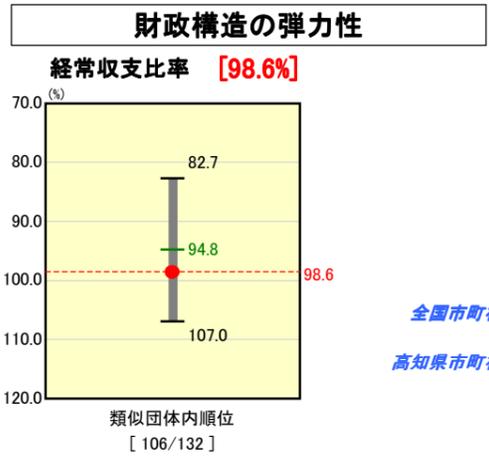
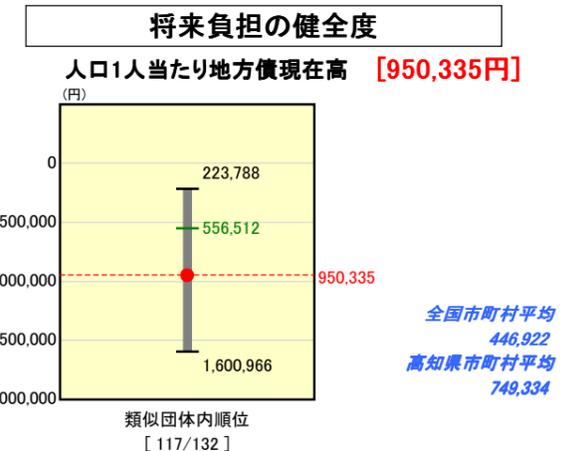
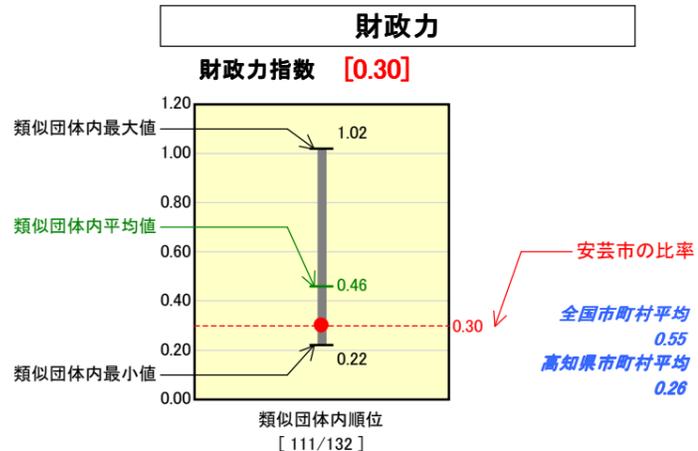


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

高知県 安芸市

人口	20,392 人(H20.3.31現在)
面積	317.34 km ²
歳入総額	10,800,849 千円
歳出総額	10,750,808 千円
実質収支	48,113 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■財政力指数
財政基盤の脆弱な本市では、近年の景気低迷や人口の減少等で、市税収入等が平成11年度をピークに伸び悩んでおり、財政力指数は類似団体及び全国市町村の平均を大幅に下回っている。今後も自主財源の確保に努め、財政基盤の強化に取り組んでいく。

■経常収支比率
人件費、扶助費、公債費の増加により経常収支比率は前年比1.3ポイント増となっており、全国平均、類似団体平均を大幅に上回っている。しかしながら、平成15年度に策定した安芸市緊急財政健全化計画(アクションプラン)に基づいて、市債発行の抑制に取り組んだことで、同比率のうち4.2%を占める公債費は19年度をピークに減少していき見込みである。また給与カットや職員数の削減による人件費の削減、差押え等の徴収強化による歳入確保、物件費の大幅削減など行政改革を継続して実施することで、同比率は今後改善していく見込みである。これからは市税収入等の経常一般財源確保に力点を置くとともに、公債費負担の軽減等義務的経費の削減に努めていく。

■ラスパイレズ指数
平成15年度に策定した安芸市緊急財政健全化計画に基づく給与カット(特別職10%、一般職3~5%、管理職手当・期末手当等の削減)や、職員数の削減(H13当初394名→H20当初288名、△27.0%)の効果により、ラスパイレズ指数は91.8と全国平均、類似団体平均を大きく下回っている。今後もより一層の給与の適正化に努める。

■実質公債費比率
過去の大型事業実施等の影響により、同比率は過去最悪の28.1%(全国1,793市区町村中ワースト12位)となっている。平成15年度から安芸市緊急財政健全化計画に基づいた市債発行の抑制に取り組んでおり、また平成19年度からは補償金免除繰上償還や任意の繰上償還を積極的に実施したことで、公債費については19年度をピークに減少していき、同比率も今後低下していく見込みである。(H20見込 27.6%、H21見込 24.5%)

■人口1人当たり地方債現在高
平成15年度より市債残高は減少しているものの、全国平均の2倍以上と依然高い水準となっており、今後も市債発行の抑制に取り組んでいく。

■人口1,000人当たり職員数
近年、職員数の削減に努めている(H13当初→H20当初で△106名、△27%)ものの、類似団体、全国平均を大幅に上回っており、今後も職員数の抑制基調を継続していく。

■人口1人当たり人件費・物件費等決算額
安芸市緊急財政健全化計画に基づく行政改革の推進・継続により人件費・物件費等は減少しており、人口1人当たり決算額は類似団体の平均値を上回っているものの、平均値に近い数値となっている。今後も行政改革を継続することで人件費や物件費の削減に取り組んでいく。